

コレクション展 2

KANABIの百工比照



染織編

2025

6.17(火) - 8.26(火)

※臨時開室 7.19(土)・20(日)

開室時間 月 - 金 10:00 - 17:00
休室日 土・日・祝
会場 金沢美術工芸大学2号館 アートギャラリー
入場無料



金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

〒920-8656 石川県金沢市小立野 2-40-1

主催 公立大学法人金沢美術工芸大学 (美術工芸研究所)

駐車場について | 駐車場はありません。公共交通機関等でお越しください。 最寄りのバス停 | 「金沢美術工芸大学前」「崎浦・県立図書館口」

KANABIの百工比照 染織編

会期 | 2025年6月17日(火) - 8月26日(火)

※臨時開館 | 7月19日(土)・20日(日)

開室時間 | 月-金 10:00-17:00 / 休室日 | 土・日・祝

へいせい ひゃっこうひしゅう

平成の百工比照とは、加賀藩の文化奨励政策の象徴的存在である「百工比照」の現代版をめざし、平成21(2009)年度から金沢市と金沢美術工芸大学が共同で制作しているもので、アートギャラリー横に常設の「平成の百工比照 展示・閲覧コーナー」があります。「百工」は諸種の工芸、「比照」は比較対照する、の意味です。全国から集めた製品や工程見本、材料等を手に取ってご覧いただけるように資料箱に保管し、陶磁・漆・金工・染織の分類ごとに棚に収納してあります。その6300点を超える資料の中から、染織資料に焦点をあて「コレクション展2 KANABIの百工比照 染織編」として展示をします。

幅広い染織という技法の中から、本展では「糸」をテーマに展示を企画しました。「糸」は暮らしに欠かせないもので、当然のことですが私たちが毎日着ている洋服なども糸からできています。人間の知恵と技術、そして創造力によって、糸は組む事で紐になり、織る事で布となりました。本展では、綿から糸を作る、糸を染める、糸を組む、糸を織るなど様々な資料から見ていきます。ワークショップコーナーでは今回のために植物で染めた糸に触れながら“しおり”作りを体験することができます。見て・想像して・体験することで、平成の百工比照から無限に広がる糸の世界を十二分にお楽しみください。

[関連ワークショップ]

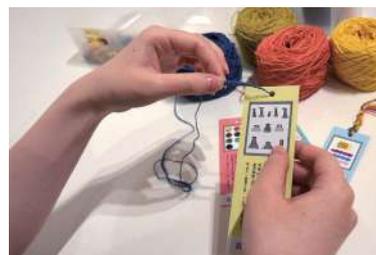
糸をつかって栞(しおり)を作ろう!

(会場内で開催・参加自由・参加費無料)

くちなし あかね あい

梔子・茜・藍で染めた糸をご用意しました。

好きな糸を通して、オリジナルのしおりを作ります。



[関連イベント]

金沢ナイトミュージアム × 金沢美術工芸大学

糸を歌い染める

作品を歌声で鑑賞するプログラムです。

染織の専門家である大高亨氏のお話をお聞きした後、展示資料の糸からイメージを膨らませたヴォーカリスト田上碧氏とヴァイオリニスト北澤華蓮氏の新作パフォーマンスによる音と共に、展覧会と建築を味わいます。

出演者プロフィール



話し手 | 大高亨

(テキスタイル作家/金沢美術工芸大学教員)

染織を専門領域に、大学教員、作家、デザイナー、プロデューサーとして活動している。近年は東北の布の調査、研究も行っている。また様々な企業、組合等のアドバイザー、教育機関、研究機関での講演なども行っている。



演奏者 | 田上碧

(ヴォーカリスト)

2014年頃より歌を軸に活動を始める。歌うことの行為や現象としての側面を浮き彫りにするパフォーマンスや、歌と語りを織り交ぜた楽曲の演奏、即興演奏や詩作など、シンプルなお実践を通して、声と身体による表現の可能性を探っている。



演奏者 | 北澤華蓮

(ヴァイオリニスト)

4歳よりヴァイオリンを始める。クラシック音楽から、即興演奏まで幅広く活動を展開する。多領域のアーティストとの共演、畑・銭湯・無人販売所など様々な場所での演奏を通して、ヴァイオリンや音楽との関係性を模索している。

日時 | 2025年8月22日(金)

19:00 開演 (18:30 開場/約60分)

料金 | 無料

定員 | 50名(要申込)

申込先 | 金沢ナイトミュージアム HP

<https://www.nightkanazawa.com>

問合先 | bikoken_g@kanazawa-bidai.ac.jp

